

東洋大学附属牛久中学校・高等学校 同窓会報

TOYO UNIVERSITY USHIKU
JUNIOR HIGH SCHOOL・SENIOR HIGH SCHOOL REUNION NEWS



CONTENTS

ホームカミングデー・同窓会総会の開催 お願い……………	1
会長・校長あいさつ……………	2
同窓会会則・活動・卒業生数……………	3
同窓会役員 決算・予算……………	4
同窓会クラブ活動祝金、功労賞、奨励賞 ……………	5
東洋大牛久は今……………	6・7・8

第5回ホームカミングデー・同窓会総会を開催します

開催日時 平成30年12月9日(日) 午前11時～
場所 東洋大学附属牛久中学校・高等学校体育館

学校創立50周年を契機として、学校と同窓会と共催で開催してきたこのホームカミングデーも5回目を迎えます。昨年より同窓会総会の時間を少しいただき、活動報告もさせていただきます。

母校とはいえ、学校には行きにくいものです。この機会にクラス・部活動の仲間と久しぶりに母校を訪れてみませんか。ご家族の参加も大歓迎です。多くの卒業生の皆さまの参加をお待ちしております。

参加の申し込みは別紙「ご案内」・「高校のホームページ」を参照ください。



この郵便物についてご家族へのお願い

卒業生の住所は相当数が実家の住所になっています。実家を離れている場合も多いと思われそうですが、恐縮ですが一度卒業生本人に、この郵便物をお渡しいただきたくお願いいたします。

住所変更・登録のお願い

住所が実家になっている。学校や同窓会からの郵便が届かない。
東洋大学附属牛久高校ホームページの「卒業生の方へ」→「住所変更等」
を選択→「住所変更等登録フォーム」から住所変更登録ができます。
住所の変更をお願いいたします。



同窓会会報第4号の発刊にあたり 同窓会会長 川口 勝嘉

東洋大学附属牛久高等学校卒業生の皆様には、ますますご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年10数年ぶりに同窓会報第3号を発行することができました。同窓生の皆さんに対し、学校の情報等をお知らせすることが同窓会としての重要な役目であると判断し、ホームカミングデーのご案内に合わせ、今年度も会報を発行することにしました。

さて、本校の卒業生数ですが、平成30年3月の第52回卒業生で、26,715名となりました。毎年約500名強の卒業生を輩出し、各方面で活躍しています。卒業生には卒業時に終身会費をいただき、全員が同窓会員となっています。卒業生数は約26,700名と大きな組織であり、したがって会報の発行や総会の通知等、郵送料の負担が大きく、支出の大きな割合を占めることになり、勿体ないとの意見もあり、そこでDM等新たな郵送方式を模索し、郵送料の軽減を図り、会報の発行とホームカミングデーでの総会の開催を今年度の同窓会の大きな事業として、皆様のご支援・ご協力を頂きながら、同窓会の活動を進めてまいります。

来年、茨城県で国体が開催され、再来年は2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これらのスポーツの祭典を前にして、本校は平成29年度茨城県高等学校総合体育大会学校別総合得点で男子が初めての総合優勝、女子が3位となり表彰され、国体に向け本校生徒に期待がかかります。期待されていると言えスポーツクライミングで本校卒業生の野口啓代さんがアジア大会で優勝、この競技の第一人者であり、東京オリンピックでもメダルが期待されています。ぜひ応援してください。

毎年12月に学校と同窓会が共催で開催している「ホームカミングデー」も年々参加者が増えてきており、今年で5回目を迎えます。昨年同様同窓会総会としての時間を少しいただき活動報告をさせていただきます。卒業生とはいえ、なかなか学校には行きづらいものです。ご家族での参加も可能ですので、ぜひ、この機会に気軽に参加してみてください。お待ちしております。

東洋大学附属牛久高校も創立55年目をむかえ、100年に向けて改革が進められ、その成果が現れてきていると聞いています。母校のさらなる充実発展と卒業生の皆様のますますのご多幸とご活躍を祈念しご挨拶いたします。



ごあいさつ

校長 遠藤 隆二

東洋大学附属牛久中学校・高等学校同窓会会員の皆様、お元気にご活躍のことと存じます。いつも本校の教育にご理解とご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

皆様の母校、東洋大学附属牛久中学校・高等学校に来校されると、卒業した当時と比べて「変わったなあ」と思われることでしょう。1号館は南館・北館の新校舎となり、中学校が開校して校名が「東洋大学附属牛久中学校・高等学校」になっています。校内では高校生が中学生と一緒に活動している姿が見られ、学習環境は以前と比べて、ずいぶん快適になっていると思います。しかし、そのような変貌が見られたとしても、教育理念「諸学の基礎は哲学に在り・知徳兼全・独立自活」は変わっていません。

本校は、平成26年3月、文部科学省から「スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト校」に、また、平成27年5月、茨城県から「世界に羽ばたく人材育成推進事業校」に選定されました。これを機に、本校は、「哲学・教養・キャリア・国際理解・課題研究」の5つの科目からなる新しい教科「グローバル探究」を特設するとともに、英語教育を充実させるなどして「グローバル教育」の推進に力を入れています。今では年間500名を超える生徒を海外に派遣するとともに、80名前後の海外の中高校生をHomestayで受入れるなどして活発な文化交流を行い、外国との絆を深めています。また、グローバルコースを設置して中国語も必修化しました。これらの取組みにより英語や中国語はもちろん、海外に関心が高まり、海外の高校に長期留学する者や海外の大学に直接進学する者(毎年4~5名)が登場するなど、グローバル教育の成果が徐々に出始めています。文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」に2名が合格し、中国語コンテスト全国大会では最優秀賞に輝きました。部活動も今までにない活躍を見せており、昨年度は茨城県高等学校総合体育大会学校別総合「男子の部」で第1位、「女子の部」で第3位となりました。

開校してから今年で4年目となる中学校は、全校生徒188名と少人数ですが、英語インタラクティブフォーラム茨城大会で第1位(知事賞)となり、茨城県私立中学校テニス大会では男女ともに団体優勝するなど、素晴らしい成果を上げ、注目されています。この3月、本校中学校を卒業した第1期生は内部進学生として高校の「中高一貫コース」に入学し、英語ディベート大会等で活躍しています。

本校の卒業生総数は26,715名【昭和43年3月の第1回~平成30年3月の第52回までの卒業生】です。第5回目となる今年のホームカミングデーは12月9日(日)を予定しています。できるだけ多くの卒業生の皆様にご参加いただき、昔の仲間と青春を語り、母校の過去と未来を語る楽しい一日にさせていただければ、と願っています。皆様のご来校をお待ちしております。

今後とも皆様の本校教育に対するご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は東洋大学附属牛久中学校・高等学校同窓会と称し、事務局を東洋大学附属牛久高等学校（以下本校という）内に置く。
- 第2条 本会は会員相互の親睦連携を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 会報の発行
 - (2) 体育・文化活動等に対する助成
 - (3) その他本会の目的を達成するため必要と認められる事業

第2章 会員

- 第4条 本会の会員は本校の卒業生とし、卒業と同時に入会する。
- 第5条 前条に該当しない専任教職員で本校に3年以上勤務した者は賛助会員とする。

第3章 役員および顧問

- 第6条 本会は次の役員等を置く。
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 会長1名 | 副会長若干名 | 監事2名 | 幹事長1名 |
| 幹事若干名 | 会計1名 | 顧問若干名 | |
- 第7条 会長・副会長および監事は会員の中より総会において選出する。
- 2 会計および幹事は本校在職会員より会長が委嘱する。幹事長は幹事の中より選出する。
- 第8条 歴代会長・副会長および校長は顧問となる。
- 第9条 会長は会務を総理し、会議の議長となる。副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 第10条 監事は会計を監査し、その結果を総会において報告する。
- 2 幹事長は会長の指示を受け会務を掌り、事務局を主宰する。代えることができる。
- 第11条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。役員任期満了後、後任者就任までの間はその任務を行うものとする。

第4章 会議

- 第12条 会議は総会、本部役員会および幹事会とする。
- 2 本部役員会は会長・副会長・監事・幹事長・幹事・会計で構成する。
 - 3 幹事会は幹事長および幹事によって構成し、議長は幹事長とする。
- 第13条 会議は会長がこれを招集する。

- 第14条 総会、本部役員会および幹事会の議事は出席者の過半数をもってこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

- 第15条 総会は次の事項を審議し、議決する。

- (1) 事業計画および予算の承認
- (2) 事業および決算報告の承認
- (3) 本部の事業執行並びに会務の運営に関する事項
- (4) その他、必要と認められた事項

- 2 総会は会長が開催する。但し、総会が開催できない場合は本部役員会をもって総会に代えることができる。

- 3 会員の4分の1が必要と認められたときは、臨時総会を開くことができる。

- 第16条 本部役員会および幹事会は次の事項を審議し、総会に諮るものとする。

第5章 会計

- 第17条 本会の資産は会費・寄付される財産並びに資産その他より生ずる収入によってこれにあてる。

- 第18条 本会の資産は、会長がこれを管理し、本会の経費は資産のうちから支弁する。

第6章 支部

- 第21条 本会は地域を単位とする支部を置くことができる。

- 第22条 支部は毎年1回総会を開き、支部長は会長に報告する。

第7章 会則の変更

- 第23条 会則の変更は、総会の議決により定める。

附則

本会則は昭和57年8月15日より施行する。

本会則は昭和60年5月19日より施行する。

本会則は昭和61年9月29日より施行する。

(付記) 同日の総会にて、総会開催が不可能な場合は本部役員会をもって総会にこの決議が承認される。

本会則は平成17年8月1日より施行する。

本会則は平成19年6月22日より施行する。

本会則は平成27年11月17日より施行する。

本会則は平成29年2月25日より施行する。

同窓会活動

同窓会規則により、本会は会員相互の親睦連携を図り、母校の発展に寄与することを目的とし、目的を達成するために（1）会報の発行（2）体育・文化活動等に対する助成（3）その他本会の目的を達成するため必要な事業を行うことになっています。

同窓会では、昨年、十数年ぶりに会報を発行しました。会報をお届けするには卒業生が25,000名を超える本同窓会では郵送料の負担だけでも相当な金額となることから、躊躇するところですが、しかし本会の目的達成するための事業の一番目の項目でもあり、同窓会の活動や学校の様子をお知らせすることは最低限の責任であると判断いたしました。生徒の活動に対する支援として関東大会・全国大会に出場したクラブに対してのお祝い金の授与や功労賞・奨励賞の授与を継続して行ってきました。また、卒業にあたり、記念品として卒業証書ホルダーを卒業生に贈呈しています。

本校は平成26年度に創立50周年を迎えました。同窓会では周年記念事業に対しても、その都度学校に寄附金・記念品の贈呈を行っています。周年事業や教育活動・体育活動支援のための基金の準備も計画的に進めています。学校創立50周年を契機として学校と共催で実施しているホームカミングデーも総会をこの中で行うことで、さらに同窓会の活動として、認知される機会となっています。

卒業生数（同窓会員数）

平成30年3月（第52回）の卒業生

男子276名 女子284名 計560名

平成30年3月までの卒業生数

男子17,732名 女子8,983名

合計 26,715名



同窓会役員 (平成 29 年 4 月～平成 31 年 3 月)

役 職	氏 名	卒業年	卒業回
会 長	川口 勝嘉	昭和 48	7
副 会 長	小川 茂生	昭和 58	17
監 事	諸岡 重人	昭和 61	20
監 事	稲田 和人	昭和 61	20
幹 事 長	松村 豪	昭和 57	16
幹 事	高瀬 修	昭和 49	8
幹 事	飯岡 勝久	昭和 51	10
幹 事	佐々木敦子	昭和 60	20
幹 事	張貝 紀子	昭和 61	21
幹 事	朝田 香世	昭和 63	22
幹 事	森山 真帆	平成元	23

役 職	氏 名	卒業年	卒業回
幹 事	寺田 千広	平成 7	29
幹 事	渡辺久仁子	平成 7	29
幹 事	前田 貴政	平成 9	31
幹 事	曾根 健吾	平成 12	34
幹 事	根岸 芳貴	平成 18	40
幹 事	山本 紳童	平成 19	41
顧 問	小林 良雄	前会長	1
顧 問	平島 義廣	前副会長	1
顧 問	鴻丸 義次	前副会長	7
顧 問	木下 透	元副会長	5
顧 問	遠藤 隆二	校 長	-

平成 29 年度決算・平成 30 年度事業計画・予算

平成 29 年度 同窓会決算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1. 収入の部

項 目	決 算
(1) 前年度より繰越	43,612,970
(2) 利息	820
(3) 入会金	5,600,000
合 計	49,213,790

2. 支出の部

項 目	決 算
(1) 事業費	41,273,388
部活動祝金	580,000
部活動功労賞・奨励賞	100,000
同好会支援	4,206
卒業記念品	288,000
会則印刷費	9,720
卒業アルバム購入費	10,800
ホームカミングデー諸経費	574,000
同窓会報発行	2,206,662
基金特別会計への繰入	37,500,000
(2) 事務費	137,558
事務費	130,322
会議費	0
手数料	7,236
(3) 予備費	48,600
合 計	41,459,546

次年度繰越	7,754,244
-------	-----------

平成 30 年度 同窓会予算書 一般会計

1. 収入の部

項 目	予 算
(1) 前年度より繰越	7,754,244
(2) 利息	500
(3) 入会金	5,540,000
合 計	13,294,744

2. 支出の部

項 目	予 算
(1) 事業費	10,085,000
部活動祝金	1,000,000
部活動功労賞・奨励賞	100,000
卒業記念品	335,000
同好会支援	150,000
総会・ホームカミングデー開催	1,000,000
会報発行費	2,500,000
教育活動支援基金繰入	5,000,000
(2) 事務費	481,000
消耗品費	200,000
会議費	100,000
印刷費	10,000
卒業アルバム購入費	11,000
手数料	10,000
同窓会室備品費	150,000
(3) 予備費	2,728,744
合 計	13,294,744

基金特別会計

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 収入の部

項 目	予 算
(1) 前年度繰越金	37,500,000
(2) 一般会計より繰入	5,000,000
全校応援協力基金	0
周年記念事業基金	0
教育活動支援基金	5,000,000
(3) 寄付金	0
合 計	42,500,000

2. 支出の部

項 目	予 算
(1) 一般会計へ繰入	0
(2) 次年度繰越	42,500,000
合 計	42,500,000

基金残高

全校応援協力基金	20,000,000
周年記念事業基金	15,000,000
教育活動支援基金	7,500,000

平成 30 年度同窓会事業計画

- 1 母校生徒の活動に対する支援事業
 - ・クラブ活動祝金授与 ・運動部・文化部等の功労賞・奨励賞の授与 ・同好会活動支援 ・教育活動支援
- 2 卒業に際しての支援事業
 - ・卒業記念品寄贈 卒業証書ホルダーの寄贈
 - ・卒業アルバム購入 同窓会室にバックナンバーを含め収納
 - ・同窓会入会式出席、功労賞・奨励賞の授与、会則の配布
- 3 同窓会報（第4号）の発行 本会を認知させるためにも、数年間継続することが不可欠
- 4 総会・ホームカミングデー（第5回）の実施（学校との共催）
- 5 基金の積み立て 教育活動支援基金 生徒の教育活動推進・向上のための支援積み立て

平成 29 年度同窓会クラブ活動祝金授与

関東大会以上の公式大会出場に対し、21 件の団体に祝金を授与しました。

〔前期〕	空手道部（男子）	空手道部（女子）	女子硬式テニス部	男子硬式テニス部	女子ソフトテニス部	相撲部
	駅伝部	陸上競技部	ラグビー部	レスリング部	弓道部	
〔後期〕	空手道部（男子）	空手道部（女子）	女子硬式テニス部	男子硬式テニス部	女子ソフトテニス部	相撲部
	駅伝部	陸上競技部	ラグビー部	レスリング部		

平成 29 年度功労賞・奨励賞・特別功労賞授与

功労賞 空手道部 レスリング部

特別功労賞 全日本中国語スピーチコンテストスピーチ部門最優秀賞 田中さん

奨励賞 相撲部

全日本中国語スピーチコンテスト朗読部門最優秀賞 山田さん



東洋大牛久は今

東洋大牛久の国際理解教育

東洋大牛久の大きな魅力となっているのが国際理解教育です。教育の分野から東洋大牛久の今に迫っていきます。

今、日本を取り巻く環境はものすごいスピードで国際化が進んでいます。国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力はより重要になってきます。

東洋大牛久には校内に英語教育を推進するための教育環境が整っています。入室から退室まで英語だけしか話せない「All English Zone」や「English Learning Center」などにネイティブスピーカーの先生が待機し、生徒たちは最近学んだことや興味あることを質問します。自由な会話を通して「聞いて」「話す」技能を高めて行きます。

英語を使いこなすようになるためには「機会」が必要ですが、「グローバル探究」という授業があり、日本語でも難しいディベートを英語で行います。さらに校外の英語ディベートの大会に参加し、力をつけています。推進プロジェクト「EUがあなただの学校にやってくる」に選定され、欧州各国の講師が英語で講演会（グローバルセミナー）を聞ける機会に恵まれています。中学では2日間の「All English Days」を設け、中学校全体が英語のみの授業となります。中学校のユニークな取組として「英語落語」を覚えて文化祭で披露します。高校のグローバルコースでは中国語を第二外国語として必修としており、台湾の大学に進学する生徒が増えています。

英語は実際に使う、体感することが上達に繋がると言われます。中高一貫組は、中2でフィリピン語学研修、中3でオーストラリアでのホームステイ語学研修で貴重な体験を通し、自分の力不足を痛感し、その後の学習は主体的に学ぶようになり、大きな成長へとつながっていくこととなります。

高校では特別進学コースが高校2年次に2週間のオーストラリア語学研修、グローバルコースは入学直後のフィリピンでのオリエンテーション合宿を体験、2年次には2週間のオーストラリア語学研修に参加します。これが修学旅行となります。進学コースとスポーツコースは、ハワイか沖縄の選択制での探究型、異文化理解型の修学旅行となります。

東洋大牛久の進路状況・大学合格実績

2018（平成30年）年卒業生進路状況

	東洋大学附属 推薦	附属推薦 以外の 4年制大学	短期大学	海外大学	その他進学他	就職	卒業生数
人数	207	244	6	1	98	4	560

2018（平成30）年主な大学合格実績

（ ）は現役生

茨城大学	3（3）	早稲田大学	4（4）	成蹊大学	2（2）
宇都宮大学	1（1）	上智大学	1（1）	成城大学	4（4）
埼玉大学	1（0）	東京理科大学	5（5）	武蔵大学	6（2）
千葉大学	2（1）	明治大学	6（6）	独協大学	9（8）
東京海洋大学	1（1）	立教大学	4（4）	東京農業大学	3（3）
鹿屋体育大学	1（1）	中央大学	5（5）	東京電機大学	9（9）
釧路公立大学	1（1）	法政大学	6（6）	芝浦工業大学	4（4）
前橋工科大学	1（1）	日本大学	21（21）	東邦大学	9（9）
千葉県立保健医療大学	1（1）	駒沢大学	3（3）	同志社大学	2（2）
都留文科大学	1（1）	専修大学	4（2）	立命館大学	1（1）
長野大学	2（2）				

東洋大牛久は今

部活動の状況

平成30年度インターハイ（全国高等学校総合体育大会）・関東大会出場

インターハイ出場

硬式テニス部	男子	ダブルス県2位	シングルス2位				
	女子	団体県優勝※4年連続	ダブルス県優勝	ダブルス2位	シングルス2位		
ソフトテニス部	女子	個人ペア優勝・2位・4位	3組出場				
空手道部	男子	団体組手県優勝	個人組手県優勝				
	女子	団体組手県優勝	個人組手県優勝				
相撲部		団体県優勝	個人県2位・3位				
陸上競技・駅伝部	男子	5000m	県3位	関東6位			
		1500m	県2位	関東4位			
		800m	県優勝	関東3位			
	女子	100m		県2位	関東5位		

関東大会出場

陸上競技・駅伝部	男子	5000m W	県3位		女子	800m	県優勝
		3000m S C	県3位	県6位		400m	県2位
		4×100m R	県5位			100m H	県4位
						4×100m R	県優勝
						4×400m R	県優勝
						走幅跳	県2位
						円盤投	県5位
ラグビー部		県2位					
軟式野球部		春：県3位・関東3位	夏：県3位	秋：県優勝			
レスリング部		県2位	(男子フリースタイル92kg級)				

茨城県高等学校新人駅伝競走大会で駅伝部が初優勝

平成30年2月に行われた大会で創部3年目の本校駅伝部が9連覇の水城高校に勝利しました。

来る10月25日(木)に那珂市那珂総合公園周辺コースで初の京都都大路をかけた戦いがくりひろげられますので、卒業生の皆様の応援をよろしくお願い致します。



東洋大附属牛久中学校・高等学校キャンパスマップ



高等学校入学試験日程

単願推薦入試	2019年 1月 9日 (水)
併願推薦入試 (千葉県受験生対象)	2019年 1月 15日 (火)
一般入試 (単願・併願)	2019年 1月 15日 (火)

中学校入学試験日程

専願入試	2018年 12月 1日 (土)
第1回一般入試	2019年 1月 5日 (土)
第2回一般入試	2019年 1月 19日 (土)

※詳細は学校のホームページおよび入学試験要項を必ずご確認ください。

